



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：イラク駐留米軍に拘束されていたイラン人の解放 (11月9日付現地報道)

11月9日、イラクのエルビルで駐留米軍に拘束された外交官2名を含む9名のイラン人が解放され、イランに帰還した。

1. ファールス通信は今回解放されたイラン人の氏名を発表。それによると、解放されたのは外交官2名と巡礼者7名であった。
2. ホセイニ外務報道官の発言
 - (1) イラン政府関係者は何度も、エルビルで拘束されたイラン人外交官は無実であり、その拘束は理由や証拠に基づかないものであると強調し、彼等の早急且つ無条件の解放を求めてきた。この非合法の措置が行われてから数ヶ月が経過した後に、イラク駐留米軍報道官は、彼等が無実であり、イラクの治安に全く関与していなかったことを認め、彼等の解放に関する米国政府の決定を発表した。
 - (2) イラン領事館の領事2名の解放は、米国がイラク問題に関する協力及びその解決に向けて一方主義を放棄し、イラク国民及び政府の利益を自らの戦略の優先に位置づけるべきであるとの真実を明確にしている。イランは、拘束中の残りのイラン人領事官及びイラン人を一刻も早く解放することをイラク政府関係者及び国際社会を通じて真剣にフォローしており、米国政府関係者に対しても領事関係及び人権関連条約の原則及び規定を尊重し、残されたイラン人の解放に向けて遅滞なく措置を講ずるよう勧告する。
3. ゴミー駐イラク・イラン大使の発言
 - (1) エルビルで拘束され、現在も拘束中の3名の他に、バグダードのイラン大使館員2名及びケルマンシャー州知事経済担当顧問1名の計6名の外交官が現在も拘束されている。
 - (2) 現在、20-25名のイラン人がイラク駐留米軍により拘束されており、うち7名は巡礼のための密入国者、又、数名がイラクの長期滞在者である。
4. 解放された外交官2名の発言
 - (1) ムーサ・チェギーニ氏
特段の身体的拷問は受けなかったが、米国関係者は幾度となく我々を侮辱した。
 - (2) ハミードレザー・アスギャリショクー氏
米国の措置は国際法規に反するものであり、我々を独房に収監した。(他の外交官の状況について問われ) 拘束から3ヶ月が経過した後は、毎日8時間外気に触れる時間があり、他の外交官に会うことも出来た。彼等は身体的には健康である。